



静岡県地方版
第385号
2024-1-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

迎春

2024年初頭の思い

県本部会長 江川 佐一

国賠同盟のみなさん、会員のご家族のみなさん、多くの諸団体のみなさん、旧年中のご交誼に心から深くお礼を申し上げます。

1月1日午後4時10分ごろ能登半島地震が発生しました。私は本稿を書く前に、日本共産党の志位委員長の新春緊急報告を何としても読み切ろうと覚悟を決めていました。「東南アジア3か国、発見と感動の9日間」であります。

昨年12月27日付「赤旗」では「東アジアの平和構築をめざして」と題したベトナム外交学院の講演内容を読み、日本共産党がいかに世界の平和と社会進歩のために果す役割が大きな力になっていることかを実感しました。



今年1月1日午後4時、緊急放送があり、急いでテレビをつけますと「今すぐ避難してください」と能登

半島の津波情報が流れてきました。2日は新聞休刊日で3日号を読み進んでいくうちに、日本共産党の素晴らしさに感動させられました。「赤旗」一面に「2024年能登半島震災募金」へのご協力の訴え、二面には犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。現在、必死の救命、救援の活動が行われている姿は、国民の苦難の軽減”にとりくむ立党の精神とも深くつながるもので共感させられました。一昨年からのロシアのウクライナ侵略につづき、昨年はイスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への大規模な軍事侵攻。多数の殺傷、病院や住民を避難させた南部への攻撃には、「ジェノサイド(集団殺害)を止めろ」「即時停戦を」と世界的に批判の声が拡がっています。かかる情勢の中、わが国賠同盟は「ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために」一層の奮闘をしていこうではありませんか。そのためにも会員の拡大はどうしても欠かせない課題です。あらゆる知恵をしぼって前進できたといえる年となるようにがんばりぬきましょう。(えがわ さいち)

第五回県本部理事会を開催

1/9、静岡国労会館において今年最初の県本部理事会が、理事と会計監査13人の参加のもとに開催されました。

最初に江川佐一会長が開会あいさつ。元旦に起きた能登半島地震で多数の犠牲者が出ていることに対して哀悼とお見舞いを述べ、阪神大震災、東日本大震災の後、現場へ行き地震の恐ろしさを今でも忘れられないと語りました。そして、世界情勢ではウクライナ、ガザでの戦争が続くなか、昨年末に日本共産党の志位委員長が東南アジア3か国を訪問し、アジアの平和構築に向けて積極的な野党外交を展開していることの重要性にふれ、国賠同盟が「反戦平和」を守ってたたかってきたことを強調するとともに、先人のたたかいかにも学び、今年の全国大会成功のために喫緊の課題である会員拡大と請願署名の推進に力を尽くそうと訴えました。

続いて情勢報告を佐野正明副会長、活動のまとめと当面の課題についての報告を早崎末浩事務局長が行いました。

情勢報告は、国内情勢、国際情勢、県内情勢について行いました。

元旦に発生した能登半島地震は甚大な被害を引き起こし、今も深刻な事態が続いており、救援が急がれます。

政治の面では、昨年末から大きな問題として浮上し追及が続いている自民党安倍派を中心とする政治資金パーティーの裏金問題は、ついに国会議員の逮捕という段階にまで発展し安倍派幹部の特捜による事情聴取が繰り返されています。こ

れから始まる通常国会で「政治と金」の問題が重要なテーマとなることは確実です。日本共産党はすでに企業団体献金を全面的に禁止する改正案を参院に提出していますが、自民党の体質問題になっただけに、自民党の対応が問われています。

さまざまな問題を抱え内閣支持率の低下を招いている岸田政権ですが、辺野古新基地建設を沖縄県民の意向を無視して、軟弱地盤改良の設計変更を国が承認する「代執行」で新基地建設を強行しています。

大阪万博の事業費は3倍に膨れ上がり、カジノ誘致とセツトの計画が見え透いており一層事業費を膨らませています。万博は中止して資材や人を能登半島地震の復興に回せとの声も広がっています。

全国大会の年、会員拡大・請願署名推進を

昨年12月は、伊豆支部で伊東市での「わが青春つきるとも」の上映会を通して2名の入会者を迎えるとともに沼駿支部、志太榛原支部、中東遠支部で入会者をむかえるなど会員の前進が図られています。しかし今年6月に予定されている全国大会までに目標の520人を達成していくためには一段と力を尽くす必要があります。入会の呼びかけを広げていくためには、情勢や同盟活動の意義・役割をしっかりとつかんでいく学習が欠かせません。『治安維持法と現代』も大いに活用

私と国賠同盟

岳南支部 若林 正則

私が国賠同盟に加入して数十年がたっておりませんが、活動らしい活動もしないで今日まで来てしまいました。

八十数年前に治安維持法があつたことを知っている人はまだまだたくさんいると思われませんが、「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」という長い名前の団体で、治安維持法で犠牲になった人の名誉を回復し国に賠償させることを目的に運動をしている組織を知っている人は、非常に少ないと思います。

運動を進める方々も高齢になったりあるいは亡くなったりして、治安維持法問題の運動を広げる活動が困難になっていますが、治安維持法犠牲者への国家賠償法を一日も早く制定させるために、微力ですができるだけ張り張りします。

(富士宮市・わかばやし まさのり)

して学習を進めましょう。

「わが青春」第3次上映運動に着手を

また、「わが青春つきるとも」の第3次運動に積極的にとりくむ計画を全国大会までに持ちましょう。今回のとりくみは、すべての自治体での開催をめざすとともに、一度開催したところでも改めて開催して鑑賞者を広げていくことが目的です。映画鑑賞者に呼びかけることで治安維持法問題への関心を呼び起こすとともに会員拡大に結びつく経験がつけられています。

国会請願署名は、まだ目標の4分の1程度です。全会員のとりくみに広げていくことで目標の達成をはかっていきましょう。

御殿場市議選に高木氏が6期目に挑戦

新年最初の議会選挙となる御殿場市議選(定数21)が1月28日告示、2月4日投票で行われます。この選挙には日本共産党から国賠同盟の会員でもある高木理文(まさふみ)氏が6期目をめざして議席確保に挑戦します。基地の街として注目される選挙で、戦争への道を許さないたたかいの砦としての議席の確保が重要になっています。

会員拡大と国会請願署名到達

2024・1・9現在

支部	会員拡大					国会請願署名							
	目標	11月到達	増減	現在到達	夫婦会員	団体目標	11月到達	増分	現在到達	個人目標	11月到達	増分	現在到達
伊豆	27	22	+2	24	6	40	0		0	280	0	+10	10
沼駿	60	57	+1	58	14	48	12	+3	15	640	145	+80	225
岳南	25	18		18	6	32	7	+12	19	280	34	+100	134
清水	45	35		35	8	50	16		16	900	117		117
静岡	45	34		34	2	64	0		0	400	0		0
志太椋原	140	139	+1	140	36	40	23	+7	30	320	127	+141	268
中東遠	105	103	+1	104	20	40	26	+5	31	320	214	+24	238
西部	73	70		70	8	64	3		3	600	144	+20	164
県本部	-	-		-		22	1		1	260	0		0
合計	520	478	+5	483	100	400	88	+27	115	4,000	781	+375	1,156

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

(会員の皆さんの作品を適宜紹介します)

若者と「戦争反対」とどろきぬ
キエフの鳥を歌いしあとに

浜松市 江川 謙一

幾百のミサイル買いその陰で
生活切り詰め生きる人あり

島田市 鈴木 恵

国憂い 生命(いのち)愛しみ 護りぬく
国賠のいたみ 支える家族

静岡市 松浦美智世

編集後記

▼自民党安倍派を中心とした政治資金パーティーの裏金問題は、国会議員の逮捕にまで発展し、企業と癒着しその代弁者として振舞ってきた自民党の体質を浮き彫りにしています。そしていま、国民の批判をかわそうと、にわか「政治刷新本部」なるものをつくるなど右往左往ですが、国民はごまかされません。▼問題の発端を切り開いた「しんぶん赤旗」は公開されている資料を丹念に分析する中で今回のスクープに至りました。企業・団体献金にも政党助成金にも一切関わらない日本共産党の新聞だからこそその真骨頂です。

S・H

